

1. 本校の取り組みについて

本校では、6年間を通して平和学習に取り組んでいる。本校の平和学習は戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶだけでなく、自分の夢や生き方につながるように取り組んでいる。そして学んだことを全校児童に演劇という形で発信し伝えることが本校の伝統となっている。6年生は1年前の先輩の報告から学んだことを受け継ぎ、5年生へと伝えていく。5年生もまた1年後の自分たちの姿を想像しながら平和学習に取り組んでいく。そこには実にたくさんの方との出会いがあり、その出会いが取り組みの中で重要なものとなっている。

また、取り組みの前後には「夢づくりアンケート」を実施し、取り組みの成果を知る指標としている。アンケートの結果から子どもたち一人ひとりの頑張りや課題を分析した後、全教職員で共有し、次の取り組みに生かしている。アンケートの結果は保護者とも共有する「キャリアカウンセリング」も実施し、アンケートから見える子どもの変化を喜んだり考えたりしながら子どもの姿に思いをはせる場としている。

2. 今年度の取り組み

実施月	取り組み名	内容
5月11日	折鶴交流	全校児童に折鶴を折ってもらい、ヒロシマに届ける
5月12日	ピース大阪見学	戦争の悲惨さと平和の尊さについて学ぶ
5月24日	ヒロシマ修学旅行	ヒロシマ被爆体験者の方から戦争の悲惨さと平和の尊さについて学ぶ
5月25日		
7月1日	職業体験交流	意岐部中学校の先輩から職業体験の話を聞く
7月21日	自然学習	農家の方から自然を学び、自然と人間との調和について考える
8月5日	平和登校日	大阪空襲体験者の方から戦争の悲惨さと平和の尊さについて学ぶ
8月25日	地域学習	地域史を研究されているかたの話を聞き、地域の歴史を知り、地域の良さに気づく
9月25日	運動会	平和学習での学びを演技で表現する
10月16日	小中合同学習会	和太鼓ユニット絆の演奏を通して「人権・反差別・平和」について考える
12月21日	いのちの学習	お子さんを小児癌で亡くされた方の話を聞き、いのちの大切さについて学ぶ
1月17日	震災学習	読み物を通して震災について知り、支えあうことの大切さに気づく
1月27日	夢づくり出前授業	地域企業の方の話を聞き、将来の仕事について考える
2月7日	いのちの学習	東大阪助産師会の方からいのちの大切さについて学ぶ
2月10日	平和学習報告会	平和について学んだことを全校児童に発信する
2月20日	ありがとう作文	家族に感謝の気持ちを伝える
3月3日	つながろう6年1組	卒業を前に仲間の大切さを改めて知る
3月上旬	卒業制作	木工制作にたけた方の指導のもと、平和をテーマにした卒業作品を制作する

3. 取り組みの様子



被ばく体験者の方からの聞き取り



お子さんを癌で亡くされた谷口友希子さんからの聞き取り



たくさんの出会いが学びにつながっています

大阪空襲体験者の方からの聞き取り



学んだことを全校に発信した「平和学習報告会」



東大阪助産師会の方からの聞き取り

4. 成果

平和学習からは言うまでもなく平和の大切さや命の尊さを学ぶ機会となった。同時に厳しい戦中・戦後を必死で生き抜き、今平和のために活動している方の生き方から、「憎しみを憎しみでかえさない」「何があってもあきらめない」ことを学んだ。さらに、お子さんを小児癌で亡くされた方の話から、日常のあたりまえがあたりまえでなく、「また明日！」といえることに感謝する気持ちを忘れないこと、一日一日を大切に生きることを学んだ。

<谷口さんの話を聞いて>

友人君の話を聞いたとき、自分もじいじの時そなんだったなあって振り返りました。じいじのこと思い出したらめっちゃ泣けてきました。友希子さんの話が終わったあと、めっちゃ泣いてしまいました。友希子さんが「もし1つ願いがなうなら友人に会いたい」って言った時、自分も「じいじに会いたい」と思いました。今日は友希子さんの話を聞いてよかったです。あらためて「あたりまえ」が大切ってことを思いました。今日は本当にありがとうございました。

そして、6年間の平和学習で学んだことを下級生や保護者、地域の方に発信した「平和学習報告会」。「平和学習報告会」は演劇という形で行うのだが、場面構成や台本、衣装の用意、舞台設営、照明等すべて子どもたち自身で行っている。練習を重ねる中で、子どもたちどうしがぶつかりながらもつながっていき、戦争を体験された方に寄り添った演技をすることができた。当日は、6年生の子どもたちが伝えたかった「あたりまえはあたりまえじゃない」を受け止めてもらえ、報告会の後にたくさんの感想があった。子どもたちも達成感を味わい、その思いは確実に下級生に引き継がれている。

<児童の感想>

- ・いのちはたいせつだとわかりました。これからもいのちをたいせつにします。(1年生)
- ・戦争のせいで広島の人がたくさんなくなりました。戦争は絶対にだめ。友だちに、しね・ころすぞ・きえろなんて言うてはいけないんだと学べました。(2年生)
- ・命の大切さ、言葉の大切さが知れてよかったです。(3年生)
- ・6年生の平和学習報告会で、命の大切さ、「また明日」と言えることがあたりまえでないこと、ご飯を食べられるのはあたりまえでないことを教えてもらいました。戦争はもう二度とおこってはいけないと思いました。(4年生)
- ・今日はありがとうございました。とてもすてきな平和報告会でした。命の大切さがあらためてわかりました。とてもきれいな歌声ですごいなあと思いました。大きな声で聞きやすかったですし、演技もとてもうまかったです。これからも今のあたりまえを大切にしようと思いました。(5年生)

この取り組みで平和や命の大切さだけでなく人と人のつながりの大切さを学ぶことができた。本校で平和学習を夢づくり教育の一環としてとらえているのは「夢をあきらめない」「自分たちが未来を築く」ことに気づいてほしいからである。そして、夢の実現のためには人と人のつながりが不可欠だからである。今年度も平和についてだけでなく、将来の夢や希望、目標を持ち、学ぶ意欲をはぐくむ夢づくり教育の取り組みを重ねることができた。そして、多くの出会いにより多様な考え方や生き方を受け入れたり、自分の多様性にも気づいたりすることができた。さらに、友だちと思いを語り、認め、寄り添うことで、自分も友だちも大切にできる集団に育ってきていると感じている。